

図画工作科学学習指導案

題材名「のぞいてみると」

〔学指要領：「A表現」(1)イ、(2)イ「B鑑賞」(1)ア〔共通事項〕(1)アイ〕

令和〇年〇月〇日(〇) 第〇校時 〇〇〇〇教室

〇〇立〇〇小学校 〇年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 題材の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解する。 〔共通事項〕 自分の表したいものに合わせて、紙の箱の特性を生かして切ったり、穴を開けたりするなどして、工夫して表す。 「A表現」(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 協力して、ダンボールを使用した大きな街をつくる学習では、形や色の組合せを考えることはできたが、奥行きまで意識して表現できた児童は少ない。 ダンボールカッター等の道具を適切に扱うことはできるが、表したいことを十分に表現できずに、簡単な造形にとどまって製作を終える児童も見られる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 奥行きや光に着目して、表したいことを考え、のぞいてみることで見える世界の構想を練る。 「A表現」(1) 自分たちの作品から造形的なよさや美しさなどの感じ、自分なりの見方や感じ方を深める。 「B鑑賞」(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と過ごしたい街の様子を想像して表わす学習では、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、自分なりの表し方を考えることができる。 他者の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりしたことを、自分の製作に生かすことができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 箱を切ったり、穴を開けたりして主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ダンボールを使用した大きな街をつくる学習活動に進んで協力して取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、学習したことを他の学習や生活場面に生かそうとする児童が見られる。

2 評価規準

知識・技能	①自分の感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解している。 ^知 ②自分の表したいことに合わせて、紙の箱の特性を生かして穴を開けたり着彩したり、配置や光の当て方を考えたりするなどして、表し方を工夫して表している。 ^技
思考・判断・表現	①奥行きや光に着目して、表したいことを考え、のぞいてみることで見える世界の構想を練っている。 ^発 ②自分たちの作品から造形的なよさや美しさ、奥行きの変化、光の当て方や配置の意図や特徴などについて、自分なりの見方や感じ方を深めている。 ^鑑
主体的に学習に取り組む態度	①主体的に箱の中に自分の表したい世界を表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする学習活動に取り組もうとしている。 ^態

3 指導及び評価、ICT活用の計画 ※別紙参照

4 題材の価値

箱の中という限られた空間の中に、自分だけの世界をつくることにより、自分の表したいことを詰め込んだり省略したりしながら試行錯誤し、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解することができる。また、紙の箱は、穴を開けたり塞いだりするなどの加工がしやすく、穴の位置や数を繰り返し工夫することができるため、「穴」という限定的な視野から見える奥行き、光などの造形的な視点に着目しながら、主題を設定することができる。さらに、友達の世界を探検するためには、穴をのぞかないと見ることができないため、わくわくする気持ちを高めるとともに、鑑賞する際に光の当て方を考えながら多様な表現に触れ、見方や感じ方を深めることができる。限られた空間の中に、友達と協力しながら作品を工夫して表現することは、学校だけでなく生活の中で、ものをつくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな造形を創造しようとする資質・能力の育成につながる。

II 本時の学習（5／6）

- 1 ねらい 友達と作品を見合いながら、物の配置や光の差し込み方を工夫する活動を通して、自分の表したい世界を完成することができるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> 自分の表したい世界に合わせて、物の置き方や光の差し込み方を工夫して、作品を完成させよう。</p> </div> <p>S：コンサートの様子が伝わるように工夫して、楽しい音楽が聞こえてくるような世界をつくりたいけど、今のままでは指揮者で演奏者が見えづらいな。</p>	<p>○本時で作品を完成させる見通しを持てるように、前時までの作品の様子と本時に組みたいことを問いかける。</p> <p>○奥行きの見え方や光の差し込み方に着目できるように、複数の児童の作品を大型モニタに表示し、自らの作品との違いを問いかける。</p> <p>○自分の表したいことを作品に反映できるように、設定した主題を改めて確認するよう促す。</p>
<p>2 物の置き方を工夫して、配置する場所を決める。（15分）</p> <p>S：指揮者と1列目、2列目、3列目のそれぞれの演奏者を全員見えるように、ひな壇で段差をつけて置いてみたら、全員見えやすくなってコンサートらしくなったな。</p>	<p>○奥行きの見え方に着目して物の置き方を考えられるように、のぞいたり物の置き方を変えたりしながら、繰り返し試すよう促す。</p> <p>○物の置き方で迷っている児童が物の置き方を試すことができるように、友達の作品を自由に見に行くよう助言する。</p> <p>○自分が表したい世界にするための物の置き方を決めることができるように、置き方の違いによる感じ方を問いかける。</p>
<p>3 友達と作品を見合いながら、光の差し込み方を工夫して、穴の位置や光の当て方を決める。（15分）</p> <p>S：指揮者だけにスポットライトを当てるのはさみしい感じがするな。友達はどう感じるだろうか。</p> <p>S：友達が言ったように、演奏者が暗くて見えづらいから、天井の後ろの方にも光を取り込む穴を開けてみよう。演奏者に光が当たって姿が見えるようになったな。</p> <p>S：自分だけでは気付けなかった、ライトにカラーセロハンを貼ってみるというアイデアを試してみたら、楽しい音楽が聞こえてくるような感じがしたな。友達のアドバイスが参考になったな。</p>	<p>○自分の表したいことに合わせた光の差し込み方について友達と協力して考えられるように、光の当て方の意図を共有するよう促す。</p> <p>○自分の表したいことに合った作品を完成させられるように、穴の大きさや位置などの違いによる見え方を伝え合うよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（知②）</p> <p>作品から、「自分の表したいことに合わせて、紙の箱の特性を生かして穴を開けたり着彩したり、配置や光の当て方を考えたりするなどして、表し方を工夫して表しているか」を評価する。</p> </div>
<p>4 本時の学習内容の振り返りをする。（10分）</p> <p>S：物の配置と光の差し込み方を工夫して、奥行きのある、自分の表したい世界をつくることができたな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><振り返り></p> <p>S：題名は、「夜の森のコンサートで家族みんなと音楽を楽しんだよ」にしました。工夫したところは、ひな壇をつかって指揮者や演奏者の置き方を工夫して、奥行きを感じられるようにしたこと。また、光が演奏者にも当たるように天井の後ろの方に小さい穴をたくさん開けました。一人では難しかった光の差し込み方も、友達と相談しながら工夫ができたので、自分の主題に合ったお気に入りの作品になってうれしかったです。次の時間に友達の世界を探検するのが、楽しみになりました。わたしの表した世界もみんなに見てもらいたいです。</p> </div>	<p>○自分の表したいことと自分なりの表し方の工夫について捉え直すことができるように、学習用端末で気に入った写真や動画を撮り、題名と工夫した点を記述するよう促す。</p>

<別紙>

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全6時間：本時第5時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・本題材の参考作品を紹介した映像を見て、箱の中に自分だけの世界をつくる活動の見通しをもち、課題を立てる。 題材の課題 のぞくことで感じられる物の置き方や光の差し込み方について考え、自分だけの世界を箱の中に表そう。	●		
2	・試しの箱にのぞき穴を開けたり、光を取り込む穴を開けたりして、主題を生み出す。		●	
3	・のぞき穴を開け、箱の中に置く物や箱の内壁の景色を工夫してつくる。			●
4	・光を取り込む穴を開け、のぞき穴から見える物の配置や光の差し込み方を試しながら空間をつくる。	○		
5	・友達と空間を見合いながら、物の配置や光の差し込み方を工夫して、作品を完成させる。	●		
6	・友達の作品の世界を探検しながら、造形的なよさや美しさなどを味わう。		●	○